



全日畜だより

第 59 号

2024 年5月30 日
<https://www.alpa.or.jp/>

令和 6 年度 第一回理事会を開催 (5月17日(金) 機械振興会館)

- 6月17日開催の「第16回定時社員総会」の議案審議
- コロナ明けに相応しい積極的な諸活動計画を掲げた

- ◎ 全日畜は5月17日、6月の定時社員総会開催を前に今年度第一回理事会を開催しました。
- ◎ 金子理事長は「飼料高騰による社会経済環境の悪化」「異常気象による自然環境の悪化」など生産を取り巻く負の要因が重なって苦しい経営となっている。何とか危機を乗り越えられるような、会員のみなさんのためになるような活動に取り組んで行きたいと開会挨拶がありました。



(参加された理事、監事のみなさん、前列右側が金子理事長)

- ◎ 会議の中では、2年以上にわたる飼料価格の高騰、上がった生産費の価格転嫁ができないなどで畜産経営が危機に直面している。生産者の努力では解決できない限界にきている。行政等をお願いするアプローチを考える必要がある。千葉県が大きな被害を受けた令和4年度の台風15号では、政府への要請が功を奏して全国的な自家発電事業の推進となった。全日基、工業会と協力して、全日畜が生産者の代弁者となるような組織にしていく必要がある。等の多くの意見が出されました。

◎ 定時社員総会等のお知らせ

- ・ 総会の開催日：令和6年6月17日(月)
- 会場：機械振興会館(港区芝公園)
- 時間：13:00から14:45

※ 総会終了後、同会場で、総会記念セミナーを併催します。

「第16回定時社員総会」及び「総会記念セミナー」の概要

- | | |
|-------|---|
| 1 開催日 | 令和6年6月17日(月) |
| | ○ 定時社員総会
13:00～14:45 |
| | ○ 総会記念セミナー
15:00～17:00 |
| 2 会場 | 機械振興会館 6階 6-65・66会議室
〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8
TEL 03-3434-8211 |

「総会記念セミナー」の講師紹介



講師 NPO法人プラットフォームあおもり
理事長 米田大吉氏

プロフィール

青森県出身、慶応義塾大学卒。(株)西友で、人事情報管理・評価制度設計・能力開発プログラム開発者として従事。Uターン後、青森県企業の新商品開発・販路拡大・人材育成・雇用支援事業等に取組む。2011年にNPO法人プラットフォームあおもりを設立し現職。他、青森県生涯学習審議会委員、国立弘前大学教育推進機構講師などを兼任。

全日畜ホームページ「資料室」での公開情報のお知らせ (5月から)

- | | |
|----------------------------|----------------------|
| ◎ 多角化による畜産経営強化調査事業 | 事業成果報告書 (令和5年度) |
| ◎ 多角化による畜産経営強化調査事業 | 畜産経営の多角化指針 (令和5年度) |
| ◎ 畜産経営の危機克服・持続のための実態緊急調査事業 | 事業中間(一年次)報告書 (令和5年度) |

令和6年度 第一回運営委員会を開催 (5月9日(木) 機械振興会館)

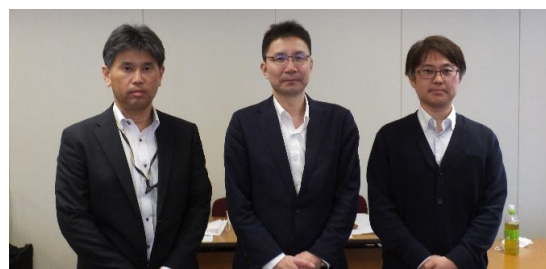
○ 新体制で厳しい畜産経営の難局に対峙 ○ 事業成果の普及啓発を

- ◎ 飼料メーカー12社からの委員で構成する運営委員会は、5月9日第一回の運営委員会を開催しました。
- ◎ 新年度の運営委員会体制は、各社推薦の12名の候補者(2名が新任)が理事会で任命され、委員長1名、副委員長2名を選任して新体制がスタートしました。



(写真は会場での運営委員の皆さん)

- ◎ 審議のポイント等
 - ・今年度も新規の事業が採択されたが、直近の緊急テーマを定めての実態調査事業は、生産現場の声を届けるなどの成果を上げている。
 - ・一方、現場からはこれらの事業成果が現場では見えにくいとの意見も聞かれる。もっと事業の意義、成果、評価等が現場に見える工夫を考えて欲しい。等の意見が出されました。



(左から石丸副委員長、岩澤委員長、田中副委員長)

- ◎ 令和6年度の実態調査事業の概要 (2事業)
 - ・「危機克服事業 (略称)」今年度最終年度
 - ・「畜産SDGs事業 (略称)」今年度新規事業
 - ・アンケート調査 1回
 - ・ワークショップ開催 5回
 - ※ 1号開催は「宮崎会場」(右図、速報参照)
 - ・セミナー開催 1回

全日畜ワークショップ「危機克服」宮崎会場の速報

- ◎ 開催日 令和6年7月3日(水曜日) 13:00 ~ 16:00
- ◎ テーマ 畜産経営の危機を克服し、持続発展のヒントを求めて
- ◎ 会場 ひまわり荘 1階「大会議室」
- ※ 畜産生産者から事例を発表いただき会場参加者と意見交換を行います。

畜産経営の危機克服・持続のための実態緊急調査事業 (R5年度からR6年度事業)

令和6年度 第一回推進委員会を開催 (5月30日(木) 機械振興会館)

- ◎ 実態調査事業は10名の外部委員による推進委員会を組織して事業を実施しています。
- ◎ 「危機克服事業 (略称)」では、5月30日今年度第一回の推進委員会(委員長 石原哲雄氏 公益社団法人 畜産技術協会 会長)を開催しました。
- ◎ 委員会では、畜産をめぐる情勢が大変な時期にある。タイムリーなこの調査に多くの生産者に参加して欲しい。セミナーへの参加者数の増などに工夫を、等の意見が出されました。

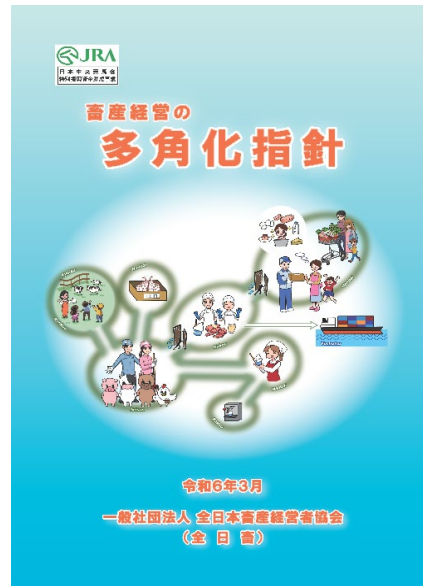


(写真は会場での委員の皆さん、中央が石原委員長)

令和5年度の完了事業についてご紹介

「多角化による畜産経営強化調査事業（令和4年度～5年度）」

- ◎ 調査の目的は、畜産経営の安定化、維持発展のために有効な多角化の推進と、多角化経営を推進する場合の失敗の回避。
- ◎ 調査概要は、全国、全畜種でのアンケート調査の実施、畜産主産地でのワークショップの開催など。
- ◎ これら直接調査で得た情報から、課題と解決方法、将来の持続性等を分析し、多角化に関する情報やノウハウを記載した「畜産経営の多角化指針」を作成。
- ◎ 調査の結果では、多角化を初めてすぐに成功した事例は少なく、年数をかけて地道に努力して成功している事例が多く見られた。
- ◎ 畜産経営の多角化では、1～2年の短期でなく、長期的な戦略を持つことが必要。とか、本業の生産部門の安定があつての多角化であること。などのポイントが示された。

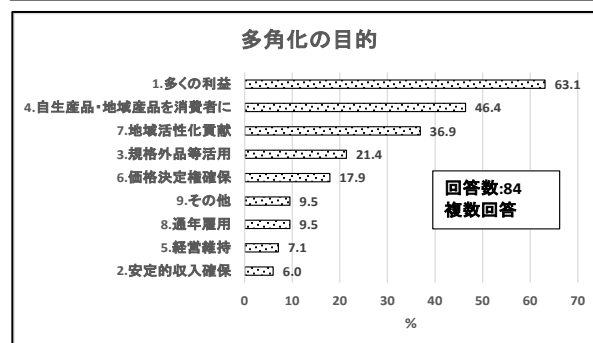
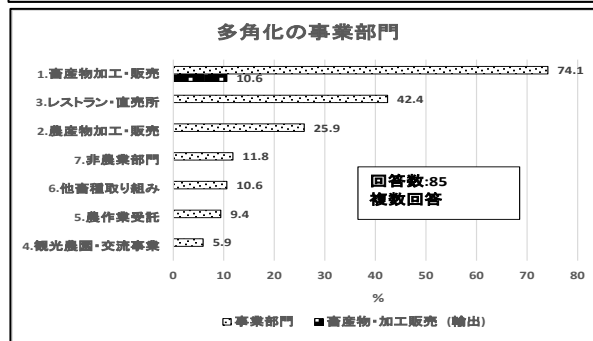
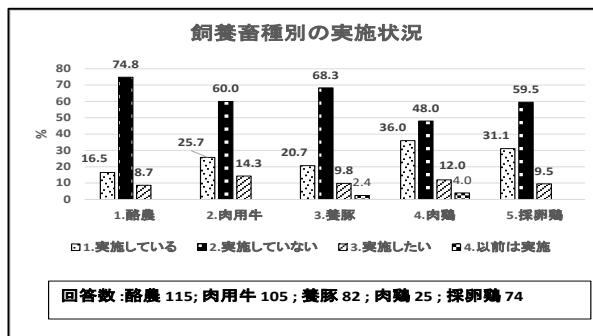


(参考：「畜産経営の多角化指針」の表紙)

アンケート調査

(回収総数は374経営体・回収率74.8%)

- ◎ アンケート調査では酪農、肉用牛、豚、採卵鶏、肉用鶏の5畜種の経営体を対象。
- ◎ **畜産経営の多角化（実施状況）**
 - ・ 行っている22.8%、実施していない66.1%、今後実施したい10.5%、以前は実施していた0.8%。
- ◎ **畜産経営の多角化（飼養畜種別の実施状況）**
 - ・ 実施している割合は、採卵鶏経営では31.1%、肉用鶏経営では36%で割合が高い。
 - ・ 今後実施したいを加えると、採卵鶏経営が40.6%、肉用鶏経営が48.0%と更に高い。
- ◎ **畜産経営の多角化（事業部門）**
 - ・ 畜産物の加工・販売が74.1%、レストラン・直売場が42.4%。農産物の加工・販売が25.9%。
 - ・ 畜産物の加工・販売の10.6%が輸出に取組み。輸出先は香港、台湾、シンガポールなどのアジア圏が主。
- ◎ **畜産経営の多角化（多角化の目的）**
 - ・ 63.1%が、高付加価値化や経営の多角化でさらに多くの利益を上げるため。
 - ・ 自社産品を多くの消費者に届けたいが46.4%、地域の活性化に貢献が36.9%。



全国5会場でワークショップを開催（北海道、青森、千葉、広島、熊本）

5畜種の畜産生産者16名に「多角化経営の成功のポイント」を紹介していただきました

	<p>埼玉県 深谷市（養鶏）</p> <p>（（株）花園たまや） 高橋 洋平 様</p> <p>良い鶏、餌、管理が経営基本 卵、プリン、地域野菜などを販売</p>		<p>山口県 周南市（養豚・肉用牛）</p> <p>（（有）鹿野ファーム） 隅 明憲 様</p> <p>食肉加工製品の直売など 養豚に加え肉用牛部門にも展開</p>
	<p>千葉県 館山市（酪農）</p> <p>（（株）須藤牧場） 須藤 陽子 様</p> <p>生乳生産の他6次化に取組み 酪農の価値を高める種々の活動</p>		<p>広島県 広島市（酪農）</p> <p>（（株）久保アグリファーム） 久保 正彦 様</p> <p>ジェラート工房で加工・販売 体験乳搾りや食育教育にも取組み</p>
	<p>千葉県 香取市（養豚）</p> <p>（（株）サンライズファーム） 高木 邦彦 様</p> <p>養豚の生産、加工品製造、販売 通販販売やレストラン事業も展開</p>		<p>熊本県 宇城市（養鶏）</p> <p>（（有）那須ファーム） 那須 修一 様</p> <p>直販のほか百貨店やネット販売も 飼料用米活用で耕種農家とも連携</p>
	<p>青森県 蓮田村（養鶏）</p> <p>（坂本養鶏（株）） 坂本 佐祐 様</p> <p>ひな、成鶏、卵、肉の一貫経営 直売、加工、輸出の多角経営</p>		<p>鹿児島県 鹿児島市（肉用牛）</p> <p>（（株）カミチクファーム） 西 浩二 様</p> <p>カミチク独自の6次化を確立 地域資源の循環と利活用を推進</p>
	<p>青森県 七戸町（酪農・肉用牛）</p> <p>（（有）金子ファーム） 金子 春雄 様</p> <p>肉用牛（肥育）と酪農の複合経営 ジェラート販売、レストラン経営</p>		<p>鹿児島県 鹿屋市（養豚）</p> <p>（（有）ふくどめ小牧場） 福留 洋一 様</p> <p>加工・販売、レストランの多角化 真直ぐ、丁寧に、手間ひまかけて</p>
	<p>青森県 十和田市（養鶏・養豚）</p> <p>（（株）ふなばやし農産） 布施 久 様</p> <p>採卵鶏と養豚の複合経営 卵の直販、加工製品販売も展開</p>		<p>北海道 足寄市（酪農）</p> <p>（ありがとう牧場） 吉川 友二 様</p> <p>100頭規模の放牧酪農を实践 ソフトクリーム販売とチーズ工房</p>
	<p>山口県 山口市（酪農・肉用牛）</p> <p>（（有）船方総合農場） 坂本 賢一 様</p> <p>四つの法人組織で構成 乳・肉・米の生産、加工、販売</p>		<p>北海道 上士幌町（酪農）</p> <p>（（有）十勝しんむら牧場） 新村 浩隆 様</p> <p>生産乳で乳製品加工と販売 放牧で生まれた余剰時間で6次化</p>
	<p>山口県 萩市（肉用牛）</p> <p>（（有）萩見蘭牧場） 藤井 照雄 様</p> <p>日本最古の和牛「見蘭牛」を飼養 加工製品の直売とレストラン経営</p>		<p>北海道 士幌町（酪農）</p> <p>（十勝くわばら牧場） 桑原 寛晃 様</p> <p>バイオガスプラントで自家発電 生産乳でペット用ヨーグルト販売</p>

詳細は全日畜ホームページの「資料室の日本中央競馬会 畜産振興事業の多角化による畜産経営強化調査事業」に掲載

（商系団体の略称表記について）

- 全日畜：一般社団法人 全日本畜産経営者協会
- 全日基：一般社団法人 全日本配合飼料価格畜産安定基金
- 工業会：協同組合 日本飼料工業会
- 〇〇県基金協会：一般社団法人 都道府県配合飼料価格安定基金協会